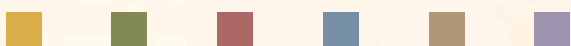




第1章

田原市の景観特性



1 田原市の概況

1 背景

田原市の景観特性として、海岸や山、農地等の自然的景観、田原城跡や寺下通り等の歴史的景観、田原市街地や福江市街地等の市街地景観と赤羽根市街地等の集落景観に大きく分類でき、多様な景観により構成されています。



農地と蔵王山等



田原城跡



田原市街地の景観



雄大な太平洋ロングビーチ



蔵王山からの良好な眺め

2 田原市の景観特性

1 自然的景観(海・山・農地)

海 海の景観

- 田原市は、三方を海に囲まれ、三河湾側の内海は、波も穏やかで海苔の養殖や潮干狩りなど、生業としての景観が眺められます。
- 太平洋側の外海は、波も高く、太平洋ロングビーチではサーフィン利用者も見られます。また、海岸沿いは片浜十三里といわれる直線状の海岸となっており、高さ20m以上もある海食崖(ほうべ)が太平洋の荒波に浸食されて切り立つ姿は、大自然の雄大さが見られる特徴的な景観の一つです。



内海の風景



潮干狩り



恋路ヶ浜



片浜十三里

山 山の景観

- 渥美半島の中央部には、赤石山系の端に当たる標高300m程度の山が点在して一連の山並みを形成しており、市内の多くの場所からその姿が眺められます。
- 渥美半島で最も高い大山(327.9m)や田原市を代表とする蔵王山(250.4m)では、360°の大パノラマが展望台から眺められ、太平洋や三河湾が一望できます。



山並み



蔵王山からの大パノラマ

農 農地の景観

- 野田町や馬伏町等でまとまりのある水田が分布しています。西山町や六連町等には広大なキャベツ畑が集積し、和地町や赤羽根町では電照菊の温室群がまとまりのある農地の景観として特徴的です。
- 大根のはざかけ風景はこの地方の冬の風物詩でしたが、非常に少なくなり、記憶の中での風景になっています。



水田



大根のはざかけ

2 歴史的景観



塚 貝塚・古窯跡等

- 吉胡、伊川津、保美等の大規模な貝塚では埋葬人骨が大量に発掘され、全国に知られていますが、吉胡貝塚を除いて、多くの遺跡や貝塚は人の目にも付きづらく、景観的資源として認知・形成されていないのが現状です。
- 渥美半島では、12世紀の初めから13世紀の頃にかけて焼き物づくりが盛んでした。市内に残されている古窯跡は全国的にも有名で、今後はこれらを景観資源として、文化財指定による保護、継承する必要があります。



城 中世の城館等

- 中世の城館、陣屋、海岸防備の施設が市内の至る所に残され、それらは地域の歴史の歩みを知る大事な景観資源となっています。
- 現在では多くの景観資源が失われており、都市化の進行とともに今後も残り少ない景観資源が失われていくことが懸念されているため、現在残っている景観資源は、景観資源のみではなく、その周辺も含めて保全していくことが大切です。



廃藩前の二の丸櫓(明治4年)
(出典:田原の文化財ガイドⅢ)



道 街道

- 渥美半島の古い「陸の道」としては、太平洋沿いを通る「伊勢街道」と、三河湾沿いを通る「田原街道」と呼ばれる2つの街道があり、概ね現在の国道となっています。古くからの街道の趣きは少なくなったものの、街道沿いには田原城跡をはじめ常夜灯など、当時をしのばせる景観資源が残されています。



里 集落

- 表浜の海岸線に沿ってほぼ等間隔に集落が連続しており、現在でも多くの集落がその形をとどめています。特に赤羽根集落では高い生垣や大きな門長屋、細い路地等が残っており、古くからの建物が残る趣き深い集落景観が見られているとともに、その他集落においても、集落ごとに地域独自の景観が残されています。



戦 戦争遺跡

- 渥美半島には戦争遺跡が数多くあり、伊良湖射場関連施設のほか、太平洋戦争時に設けられた施設が残っています。
- しかしながら、建物として残っているものは少なく、当時を知る貴重な歴史資料として、周辺の景観に配慮しつつ将来の世代に引き継いでいくことが大切です。



建 近代建築物

- 田原市内の近代化遺産としては、(旧)野田郵便局、平野歯科医院、赤羽根町歴史民俗資料館があげられています。
- また、近代和風建築としては、華山文庫・収蔵庫、旧江戸屋、内柴邸離れ(茶室・座敷・洋館)、石原製鋼所、柳原忠兵衛家住宅、田原郵便局、自治田原警察署庁舎、ますや旅館、尾張屋旅館、田原市民族資料館及び田原市立田原中部小学校校舎等があげられています。
- これらの近代建築物は現在も改修され、活用されているものもありますが、老朽化が進んでいるものや壊されたものもあり、今後は、大切な景観資源としての保全が望まれます。



華山文庫・収蔵庫



内柴邸離れ(茶室・座敷・洋館)

3 まちなみ景観

■田原市街地は、都市化された市街地景観となっていますが、城下町周辺では城下の趣きが感じられる景観が一部残っています。



はなとき通りの民有地緑化



武家屋敷の名残りが感じられる生垣

■赤羽根市街地は、古くからの趣きのある集落景観が残っています。



古い建物が残るまちなみ



細い路地景観

■福江市街地では、市街地景観が主となっていますが、城坂や海岸沿いの旧商店街では当時の状況をしのぼせる趣きのある景観が一部残っています。



旧商店街の名残りが感じられるまちなみ



城坂

4 公共公益施設等の景観

道 道路景観

- 場所によっては、電線類の錯綜や電柱類が山の景観を阻害している状況が見られます。
- 主要な道路である国道42号や国道259号等では、雑草が多く見られます。
- 景観に配慮したガードレール等が少ない状況が見られます。
- 市街地内や市街地周辺部の屋外広告物が、見る位置によっては山並みを分断している状況が見られます。



電線類の錯綜



道路の雑草(国道259号)

港 港景観

- 港は、海に接し、集落に接し、生業の場として大切な場所で、船溜まりや海が眺められる場所です。港は視点場としての役割も担っていますが、港全体としての修景デザインに配慮が欠けている港も見られます。



船溜まりと集落の景観



伊良湖港の景観

川 河川景観

- 汐川は田原市街地を流れ、一部親水空間や散策路の整備が行われていますが、コンクリート製の護岸や川から見える屋外広告物など、河川景観と調和していない所も見られます。
- また、河川の河口部や河川敷などには、廃棄された船などが見られます。
- 免々田川では、住民が主体となって河川景観の修景活動が行われています。



田原市街を流れる汐川



免々田川沿いの菜の花

5 眺望景観

田原市の景観の特徴の一つに良好な見晴らし(パノラマ)景観があります。

【見晴らし景観を眺める視点場】

- 太平洋ロングビーチや表浜海岸からの海の眺め
- 蔵王山や衣笠山等からの海や農地、市街地、集落等の眺め
- 初立池や神戸大池水辺公園のように農業用ため池の一部を公園化した池の眺望景観
- 広大なキャベツ畑や温室等の農業景観
- 漁港や漁村の生い立ちとしての海の眺望景観

【見通し(ビスタ)景観】

- 国道42号や国道259号



海食崖(ほうべ)の高台から見る太平洋(谷ノ口公園)



初立池からの眺望景観



温室の眺め



国道の景観

6 景観構造

- 田原市のランドマークとしては、市街地や集落、国道、海岸等から見える山、灯台、風車等があります。
- 人が集まる結節点としては、駅や市役所等がある田原市街地に多く見られます。
- 縁としては、三方の海辺や河川、山裾などがあります。
- 軸としては、国道(42号、259号)等の幹線道路や豊橋鉄道渥美線といった鉄道が機能しています。
- まとまりのある地域としては、農業ゾーン、山地ゾーンが大きな地域として占めており、田原、福江、赤羽根の市街地ゾーン、臨海工業地ゾーンが地域としてまとまっています。

【ランドマーク(目印)】



伊良湖岬灯台



福江の火の見やぐら

【結節点(人の集まる場所)】



田原市役所



三河田原駅

【縁(地形の変化点)】



汐川



海食崖(ほうべ)

【軸】



国道42号



国道259号

【地域(地域のまとまり)】



緑の豊かな集落



温室群